

感染症対策啓発セミナー

— シリーズ2010:人類は感染症にどう立ち向かうか —
(各種団体・企業・マスメディア、一般市民、医系学生に向けて)

- ◆開催日時 : 平成22年12月20日(月) 13:00-16:00
- ◆会場 : 学士会館 (東京・神田) 202号室
東京都千代田区神田錦町3-28
TEL. 03-3292-5936 (会館フロント)
- ◆定員 : 100名 (参加費:無料)
- ◆主催 : 特定非営利活動法人
バイオメディカルサイエンス研究会 (略称:バムサ)
- ◆後援 : 明治製菓株式会社
株式会社モチガセ
株式会社予防医学推進センター
- ◆申込方法 : 同封の参加申込書にてお申し込み下さい(FAX, 郵送)。
先着受付順となります。満席となり次第締切とさせていただきます。

開催趣旨

世界保健機関は、1993年に「人類は未だ感染症の脅威にさらされている、病原微生物の新たな挑戦に緊急に対応しなくてはならない」との警告を世界に発した。

その警告を裏付けるかのように、近年、重症性呼吸器症候群(SARS)などに代表される新しいウイルス性感染症が出現しており、世界各国は21世紀の国際上の感染症として、その対策に努力を傾けている。その中でも、昨年春、新型インフルエンザウイルス(H1N1)が出現し、メキシコやアメリカなどを初発とする感染が拡大する事態となり、世界的流行を引き起こすに至り、国際的なレベルでその対応策が真剣に取り組まれている状況である。

わが国においても、新型インフルエンザ対策行動計画など厚生労働省が中心となって、行政レベルや関係機関で対策が積極的に進められており、その効果が求められている。

上記の感染症の実態をふまえ、当研究会は、一般社会への感染症対策に微力ながら寄与すべく「感染症対策啓発事業」として、感染症対策啓発セミナーをシリーズで開催しているところである。

今回のシリーズ2010は、すでに流行期に入っているインフルエンザやノロウイルス感染症と感染症の危機管理を取り上げ、参考に供することを旨とするものである。

特定非営利活動法人
バイオメディカルサイエンス研究会
理事長 小松俊彦

プログラム

司会進行 : 増田 剛太

(バイオメディカルサイエンス研究会常任理事)

時 間	内 容	講 師
13:00-13:10 (10分)	開催の趣旨	小松 俊彦 バイオメディカルサイエンス研究会 理事長
13:15-14:00 (45分)	講演1 基調講演 新型インフルエンザ パンデミックの動向と対策の現状	田代 真人 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター センター長
14:10-14:55 (45分)	講演2 感染性食中毒の実態と対策 —ノロウイルス感染を中心に—	矢野 一好 首都大学東京 客員教授
15:05-15:50 (45分)	講演3 感染症に対するリスク・マネジメ ントと危機管理	武井 勲 大阪大学 安全衛生管理部 招聘教授
15:55-16:00 (5分)	閉会挨拶	木ノ本 雅通 バイオメディカルサイエンス研究会 副理事長

■ プログラムは都合により変更される場合があります。予めご承知おきくださるようお願い申し上げます。

■ バイオメディカルサイエンス研究会の概要については別紙をご参照下さい。